

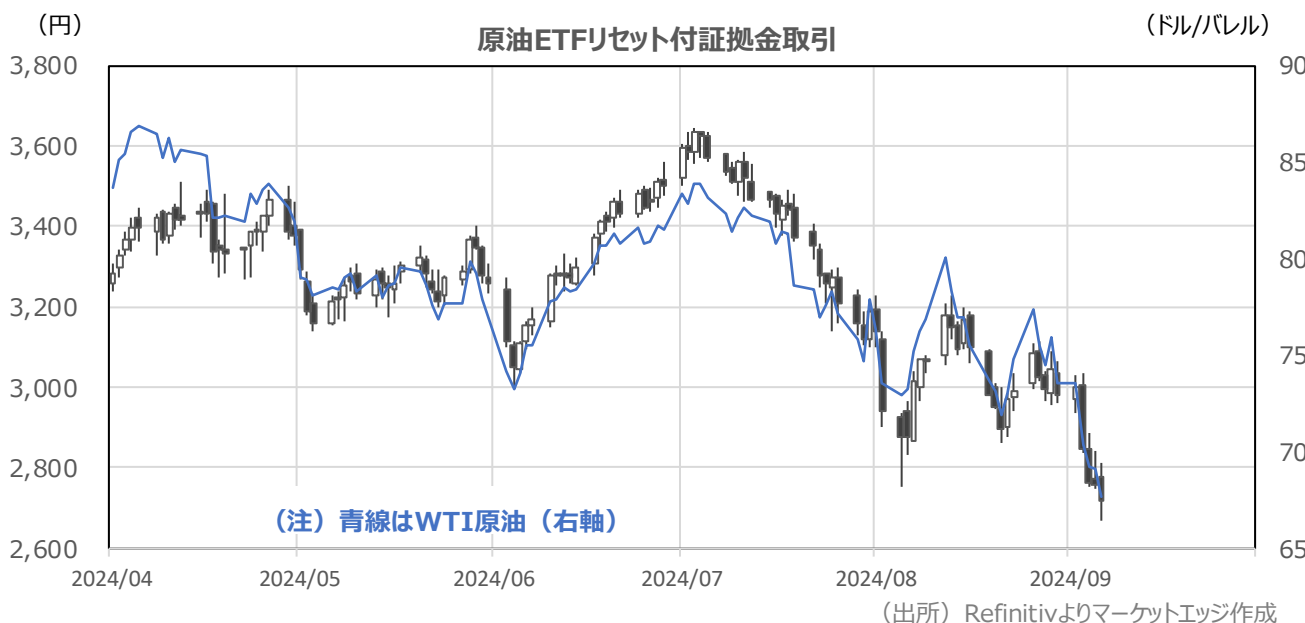
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/09/09号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 需要不安で1年3ヵ月ぶりの安値更新

NY原油先物相場は、1バレル=67ドル台中盤まで急落する展開になった。中国石油需要環境の悪化が警戒され、大きく値を崩す展開になった。ドライブシーズンの終了による行楽需要がピークを過ぎたとの見方もネガティブ。リビア産の供給不安後退も上値を圧迫している。石油輸出国機構（OPEC）プラスは9月5日、自主減産の縮小開始時期を10月から12月まで2ヵ月延長することを決めたが、原油相場を下支えするには至らなかった。70ドルの節目が支持線として機能せず、昨年6月以来となる1年3ヵ月ぶりの安値を更新した。

中国経済の減速懸念が強い。中国の8月製造業PMIは前月の49.4から49.1まで低下しており、中国経済の悪化が更に進行していることを確認している。既に中国の原油需要、製油所原油処理量は前年実績を割り込み始めているが、年末に向けて一段と石油需要が下振れするリスクが警戒されている。中国主導で世界石油需要の拡大が続くとの前提条件が崩れつつある。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月30日時点）は、原油が前週比687万バレル減、ガソリンが85万バレル増、石油精製品が37万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 需要不安で上値重い展開、65ドルを巡る攻防に

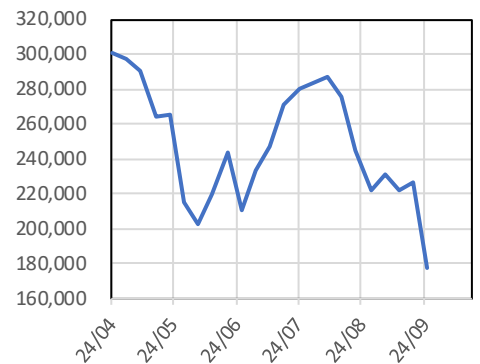
中東やリビア情勢を手掛かりとした買いは続かず、需要不安の上値圧迫が再開されている。中国経済の減速、ドライブシーズン終了の季節要因を背景に、上値の重い展開が続きやすい。特に需要不安を高めるような動きが更にみられると、下振れリスクが高まる。ただし、WTI原油の65ドル、ブレント原油の70ドルは昨年以降のボックス下限であり、同水準では下げ渋る展開が想定される。

中国の需要不安がメインテーマになっている以上、9月10日に発表される中国の8月貿易収支に注意が必要。ここで中国経済活動の停滞が意識されると、売り圧力が強まりやすくなる。また、10日には石油輸出国機構（OPEC）、12日には国際エネルギー機関（IEA）の月報の発表が予定されている。ここで世界石油需要見通しの大幅な下方修正がみられた際にも、下振れリスクが高まろう。

一方、前週はOPECプラスが自主減産の開始時期を10月から12月まで2カ月先送りしたが、マーケットではほとんど材料視されなかった。OPECプラスは追加政策調整にも含みを持たせているだけに、原油相場が下げ止まらない際には、新たな市況対策を打ち出す可能性に注意が必要。

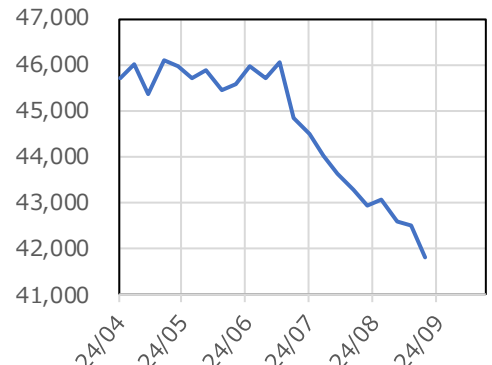
また、昨年以降はWTI原油の65ドル水準は米シェールオイルなどが安定的な生産体制を維持する上での安値限界と評価されている。今年は米国の他、カナダ、ブラジル、ガイアナといった北南米の増産圧力が目立つが、これらの地域の増産にブレーキが掛かるとの観測が強まると、下げ一服感が強まる可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



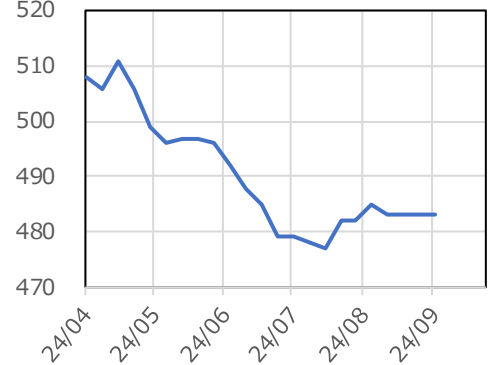
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

